

平成29年度予算執行方針

1 予算の概要

市制100周年である本年度の予算は、「八王子ビジョン2022」の都市像の実現に向け、アクションプランに掲げた事業を計上し、次の100年に向けて、夢と希望が持てるまちづくりを推進していくために、人やまちの未来に投資する事業に重点を置いている。

前年度に比べ、歳入は、市税収入が税制改正の影響による法人市民税の減などにより1.3億円、地方消費税交付金などの税外収入が16.3億円の減額となった。一方、歳出では、圏央道八王子西インターチェンジの整備完了などにより投資的経費が減となるものの、待機児童解消のため定員増を図った民間保育所運営費や障害者自立支援給付費、介護保険・後期高齢者医療特別会計への繰出金など、社会保障関係経費が増加したことから、財政調整基金の活用により財源確保を図ったところである。

2 予算執行の考え方

予算の執行にあたっては、分野・部門を越えた庁内連携を図るとともに、企業・大学をはじめ市民の市政運営への参画・協働をより一層進め、事業目的を効果・効率的に達成する必要がある。また、多彩な市制100周年記念事業を展開するこの絶好の機会に、本市の魅力の創造・発信に取り組み、地域経済の好循環や交流人口の増加につなげていかなければならない。

今後の中期的な財政見通しは、歳入の大幅な増加が見込めない中で、社会保障関係経費の自然増や老朽化した施設の改修などへの対応により歳出が増加するため、引き続き本年度と同様の財源対策が必要である。財政の健全性を維持し、持続可能な行財政運営を行うためには、財政調整基金の残額を適切に確保し続けなければならない。

このような状況において、適切な市民サービスを安定的・持続的に提供していくためには、予算計上した歳入の確実な確保はもとより、更なる収入確保に向けた取組と事務事業評価に基づく既存事業の廃止・見直しによる歳出削減を一体的に行う歳入歳出改革に全庁挙げて取り組んでいく必要がある。

以上のことを踏まえ、次に定める基本方針に従い、予算執行にあたること。

基 本 方 針

- 1 「八王子ビジョン2022」の都市像の実現に向け、進行管理を徹底し、予算に計上した各事業を迅速かつ着実に実施すること。
- 2 歳入においては、国や東京都の動向を注視し、最新の情報を捕捉するとともに、予算に計上した歳入を確実に確保することはもとより、予算に計上していない新たな歳入の確保など、増収に向けて積極的に取り組むこと。
- 3 歳出においては、総合的な視点を持って市内の連携強化を図るとともに、事務事業評価により既存事業を徹底して見直すなど、最も効率的で最大の効果が得られる予算執行に努めること。
- 4 予算審議における議会からの意見・要望については、速やかに検証し、判断した上で、平成29年度の執行あるいは今後の予算編成において適切に対応すること。
- 5 第8次行財政改革大綱に掲げた目的を達成するため、推進計画の取組項目を確実に実行すること。